

TORINO

E PROVINCIA



PRESS KIT



トリノ市 と州 見物	4
カプセルのトリノ市	8
地域特産品料理	10
トリノの山々の自然景観	12
俺らの紹介?	14



トリノ市と州見物

地方都市を構成する数が最も多い、イタリアで最大の州の一つです。フランスとアオスタ谷々との国境に沿って西、北の山岳地帯と南と東に平地や丘陵の多い部分で構成されており、ほとんどのポー(Po)川に囲まれています。

トリノ市

丘々の上に柔らかい稜線とフォー(Po)川を横切るトリノ市は、西アルプスの麓にある活気に満ち威風堂々と街です。ル・コルビュジエ(Le Corbusier)が「最も美しい自然条件を持つ都市」として定義したサボイア(Savoia)宮殿の派手さは過去の歴史的な広場、エレガントな王宮(Royal Residence)と、宗教的の建物と小さな生活の楽しさを満喫できる伝統のカフェ。他にも革新的な建物のおかげで芸術と文化の近代的な都市で確信した都市や貴重な博物館を持つ一般都市がないことをお知らせします。

ポー川周辺の丘々

ポー(Po)川が通るこの領域は、**ユネスコMaB生物(Riserva della Biosfera MaB UNESCO)**地域指定された緑豊かな丘陵地にペールが(Superga)ジュバリや大聖堂(Juvarriana Basilica)が配置されています。トリノの丘として知られてこの場所は、都市前包括するハイキングコースとして有名な巨大な緑の肺です。また、**モンカリエー(Moncalieri)**のような美しい都市の守護者として自任して、世界的に有名なルバタ(rubata)グリッシーニ(Grissini)パン屋があるキエリ(Chieri)町とフレーム取締役(Freisa)ワインはもちろん、ペッショネ(Pessione)の小村は**カサ・マティーニ(Casa Martini)**があります。ここでは、全世界に輸出されているマティーニ・ブランド(Martini Brand)原産国です。**キエリ(Chieri)**町で始まる「色とマトヒャンの道」に沿って行けば桜王国の**ペアポケット(Pecetto)**と蜂蜜の王国である**マレンティーノ(Marentino)**をはじめとするいくつかの注目すべき村があります。ポー川の右側に、**ピーマン・ナショナル・フェア(Peperone National Fair(National Fair sweet pepper))**で毎年イベント前の社サウツ(Saluzzo)とサボイア家(Savoia)侯爵のイーゼス唐辛子栽培に活用して、そのおかげで非常に重要な農業の中心地がされた**カルマニョー(Carmagnola)**をお見逃しなく。





ピネロロとヴァリ・バルデシ

山頂に囲まれた領域の南西には騎兵の歴史的な**ピネロロ (Pinerolo)**が全世界の軍人が軍事乗馬学校修練を目的と駐屯した所で関連の記録は騎兵歴史博物館に保管されています。**フォルテ・ディ・フェネスレー**(**Forte di Fenestrelle**)は数キロ離れ軍用建物で4000階段を備えた建物です。周辺寄稿ジャグジー(中央に**トレ・ペッティチェ(Torre Pellice)**がある)は、これまでもと**ワンデンシ(Waldensi)**人の心が込められた香りと野山の味が詰まった伝統的な料理を楽しむことができます。

アルタ・ヴァル・スーサとキソネ

西の端、フランスのフレジュス(Frejus)トンネルに便利な高速道路に接続されており、2006年トリノ年第22回冬季オリンピックの舞台でアルプスのアルピ・デッアルタ・ヴァル・スサ(Alpi dell'alta Val Susa)の整数誇りを見せるました。以外バルもネットキア(Bardonecchia)チェサナ・サンシカリオ(Cesana-Sansicario)クラブヴィエレ(Clavière)プロラーゼジェラート(Pragelato)ソウゼ・ドウルクス(Sauze d'Oulx)と三ストーリーエレ(Sestriere)はスキー愛好家や夏のアウトドアスポーツが好き専用の場所です。





ヴァッリ と テッレ・ディ・スーサ

ここは靈性の地です。中世から無数のカトリック信者は、カトリック本拠地のローマに行くために道を渡っていきました。その理由で、この巡礼の道は**ピア・フランチジェナ(Via Francigena)**と呼ばれるようになりました。今日の瞑想と精神的未感を探している人々に、修道院、大聖堂が心の避難所を提供しています。最も驚くべき事は、谷々の入り口に位置する10世紀の要塞修道院の**サクラ・ディ・サン・ミケーレ(Sacra di San Michele)**であり、これに劣らず**ノバレサ(Novalesa)修道院**と**サンタントニオ・ディ・ランヴェルソ(Sant'Antonio di Ranverso)**は過言ではありません。形はちょっと違うが、千年以上の歴史を持つ意味では同じことができる、19世紀に再建されたエジッレスの砦(Forte di Exilles)古代の要塞も観覧する事ができます。

グラン・パラディソ・ベルセント・カナベサノ

領土北グランパラディソ(Gran Paradiso)道のイタリアの領土(4061 m)で最も高い山の名前を持つ素敵な公園です。「アルプスの背骨は指先にあります」とニーチェ(Nietzsche)哲学者が**チェレソエル・レアレ・(Ceresole Reale)**を中心に、この地域を説明しながらは言葉です。今、ここではシャモア(chamois)、高山塩素(Alpine goat)に接することができるという期待感と古道を直接かけてできるといふときめく感動を与えています。また、牧草地チーズ(アルペジオチーズ)、ソーセージ、山間の自然の味を楽しむことができます。冬には雪がスキー場でクロスカントリースキー(Cross-country ski)とスノーシューイング(Snowshoeing)に至るまで、多くのアイデアを提案し、主人公です。





イヴレアとモレニコ円形劇場

北にドラ・バルテア(Dora Baltea)の水流に沿ってアオスタバレー(Valle d'Aosta)方向の**イヴレア(Ivrea)**町があります。このまちは中世から古代と最近の歴史をすべて保持する町です。1300年代ヴェルデ伯爵城(Conte Verde)で見ていて - オリベッティ(Olivetti)時代であった20世紀までの歴史過程 - 今は野外近代美術館MAAM(Open Air Museum of Modern Architecture)に変わった様子。2018年の夏に**”20世紀のイヴレア20世紀のイヴレア(Ivrea)工業都市(Ivrea Industrial City of the 20th Century)”** にユネスコ世界文化遺産リストに登録されました。

この地域は、冬のシーズンにイタリアで最も有名な指宿レアカーニバル(Ivrea Carnival)と一緒に最もレジャー活動が活発な地域で、オレンジの戦い(Battle of the Oranges)で有名な城がたくさんあります。例えば、マシノ(Masino)、マトチェ(Mazzè)、アイエ(Agliè)はもちろん、ソフト尾根に沿って栽培するブドウ畑は、イヴレア(Ivrea)をトリノ市を蜂蜜楽園にします。ピア・フランチジェナ・モレニコ・カナベサナ(Via Francigena Morenico Canavesana)区間を過ぎたり、カンタベリー(Canterbury)シゼリコ(Sigerico)が990年に行脚でよく知ることができます。シゼリコ(Sigerico)がバレー・ダオスタ(Valle d'Aosta)から出発してビエラ(Biella)地域の神聖な土地に向かって継続的に巡礼中サン・マルティン橋(Pont Saint Martin)が交差する隠れ家を部エヴェリ(Everi)と呼ばれる古代名前(記録した物) - ここでは、壮大な自然景観の美を代弁する所でも有名です:**モレニコ円形劇場(Ivrea e l'Anfiteatro Morenico)**は第四の氷(the quaternary ice)を占める地域の領土をデザイン化した丘陵線、湖、川泥炭地域のユニークな岩と一緒に停滞です。

ヴァッリ・ディ・ランソ チェロンダ とカステルノネ

トリノ登山の歴史的な故郷である**ヴァル・グランデ(Val Grande)**、**ヴァルダラ(Val d'Ala)**、**ヴァル・ディ・ヴィウ(Val di Viù)**、**チェロンダ(Ceronda)**と**カステルノネ(Casternone)**は谷々の端の古代氷河期モレーンに位置する**ランゾ・トリネーゼ(Lanzo Torinese)**に由来したものでピエモンテの主要ピークに囲まれています。彼らは近代化に最大の抵抗をしていた西部アルプス弧(Western Alpine arc)の一つであり、自然の理で支配的な要素を最大限に尊重し、困難な逆境を克服し、生活を営むことができます。比較的地域の特殊性を最大限に反映して余裕のある心とすることができる趣味生活を営むことができます。釣り、食用ハーブ掘りかけスノー(Snowshoes)を利用した夏と冬のハイキング、スキーツーリング(Ski Touring)、トレッキングなど、パラグライダー(Paragliding)またはカヤック(Kayak)で自然の道理の流れを最大限に反映したトリノ登山の歴史を継続することになります。





カプセルのトリノ市

チョコレート、コーヒーとミルククリームを基本とした典型的な飲料**ビシュリン(Bicerin)**とサヴォイア(Savoia)王族が好んで食べた新鮮な伝統小菓子と一緒に**様々な歴史的カフェの香り**を感じながら、イタリアの最初の首都であったトリノ市を発見し、一日の開始のために適切なエネルギーを充電してみましょう



合理的な**ローマ都市計画**のおかげで、建物アーチ型の**アーケード街**とアーケード街の間の回転にも心地よい都市 - サボイア(Savoia)王族のきらびやかな栄光の時代を代表する**エレガントな広場**と**壮大な邸宅**を鑑賞します。1997年に世界文化遺産に指定されており、ジュバラ(Juvarra)とグアリニ(Guarini)などの偉大な建築家の設計で18kmに及ぶアーケード街と12個の正方形の接続アーケードは、荘厳を代表します。アンティーク中心だけの**ロイヤル・レジデンス(Royal Residence)**は**6個**、その中のいくつかは高貴な博物館館として:ロイヤル・レジデンス(Royal Residence)は、宮廷博物館として君臨し、代表的なものとしては、チャブルセ・パラッツォ(Palazzo Chiabrese)、カリニャーノ・パラッツォ(Palazzo Carignano)、パラッツォ・マダマ(Palazzo Madama) (独特のバロックと中世のスタイルの代表作)、ヴィラ・デッラ・レジーナ(Villa della Regina)とヴァレンティノ(Valentino)城があります。

又、繁華街から数キロなら離れたカッシア・ディ・ストゥピネージ宮殿(Palazzina di Caccia di Stupinigi)、ヴェナリア・レアーレ(Venaria Reale)宮殿(Reggia di Venaria Reale)と貴重な現代美術館の精髓であるリヴォリ(Rivoli)城があります。**神聖なシュラウド(Holy Shroud Sacra Sindone)**が保管されており、1997年に燃えてしまったのを今現在華やかに再生されたグアリニ(Guarini)の優れた天井を鑑賞するのができる大聖堂があります。

カステッロ広場(Piazza Castello)があるトリノの中心部から離れた主要郊外線:**ヴィア・ローマ(Via Roma)**街に位置するサン・カルロ広場(Piazza San Carlo)、バロック様式応接室、ヨーロッパで最も長い歩く道を持っており、都市の誇りである**ヴィア・ガリバルディ(Via Garibaldi)**の通り及びグラン・マドレグランマドレ(Gran Madre)につながる**ヴィア・ポー(Via Po)**街を満喫することができます。トリノ市は、イタリアで最も緑の都市の一つである、その誇りを感じさせるジュブワリアン(Juvarrian)の作品を代表する**スペルガ聖堂(Basilica di Superga)**は、巨大な緑の肺象徴されています。





総博覧会の機会に再構成された**中世の町や要塞**などの自然美を満喫することができます。ここでの大きな川の丘の景色は本当に美しい風景です。

トリノ市は又、郊外に歩いてデザイン技術の芸術魂を発見することができます。インテサ・サン・パオロ (Intesa San Paolo)銀行の摩天楼(Skyscraper)は、イタリアで最も高い35階建ての建物であり、唯一の高層に位置レストランやカクテルバなどが目立ちます。以前のオフィチネグランディ(Officine Grandi)修理建物は、文化食べ物博物館として利用されており、以前のアヴァツァ(Lavazza)及びヌヴォォ(Nuvola)オフィスには、ラヴァツァ(Lavazza)コーヒー専用博物館であり、以前の工業用地スペースに建設されたエットレ・フィコ博物館(Ettore Fico Museum)などがあります。上記の歴史的芸術の美しさは、ユネスコ(UNESCO)が認め未来を志向する創造的な都市で活性化して行っているトリノ市のいくつかの例とすることです。

トリノ市は段階的に徐々に鑑賞し吟味する必要が都市の性格を持つ特性を持っていながら、成長、変化する内的能力を最大限に時代の流れに合わせて調和させた魅力的訪問者の心魂を捕らえることです！



ピア・フォー(Via Po)の街に沿って歩いてみると、トリノ市を象徴します。**モーレ・アントネリアーナ(Mole Antonelliana)**が目立つ為には、これ**国立シネマ博物館(National Cinema Museum)**の管理役割の建物に使用されます。第7 芸術専用関連遊園地として知られています。ただ、ここは観光スケジュールに必ず入れての訪問地です。あれらの4つ(**自動車博物館**、山々及び**ルネサンス文化**)の中で1つで、この他にも訪問する価値がある、世界で最も古い美術館の**エジプト考古学博物館**は、GAMとサンドレット・レ・レバウデンゴとメルツ(Sandretto Rebaudengo e Merz)設立を楽しむことができます。

居住地や博物館の間に位置する都市の美ポー(Po)川沿いの自然景観に感嘆する必要があります。おそらくトリノ市で発明された**散歩するときに食べるアイスクリームピンぐいノ(Pinguino)**アイスクリームを味わいながらバレンチノ(Valentino)公園にある1884年もイタリア

地域特産品料理

イタリアの伝統的な味を満喫するのも、トリノ市を理解する一つの方法です。そういたい場合は、ポルタ・パラッツォ(Porta Palazzo)市場の夜明け旅行が必要です。

共和国広場(Piazza della Repubblica)、屋内市場と農民が直接農業した様々なお土産のトリノ特産料理を決定づける(肉、ソーセージ、チーズだけでなく、パスタと生産地の寛容な農産品の)味を好むようになるでしょう。ポルタ・パラッツォ(Porta Palazzo)は、ヨーロッパで最大の市場でローマとフィレンツェ以降中央市場(Mercato Centrale)はフクサス(Fuksas)建築家が建設した「ガラスの壁」の中に位置します。



市場見物した後、グリッシーニ(Grissini)を味わわなければなりません。グリッシーニ(Grissini)は、世界のどのレストランでも味わえる棒型できつく焼いたパンに2つの型があります:スティラート(stirato)とルバタ(rubata)。このパンは、どのパン屋でも簡単に購入することができます。伝説によると、グリッシーニ(Grissini)は王族パンとも呼ばれており、これは非常若く病弱なヴィットリオヴィットリオアメデオ2世の王(ヴィットリオアメデオ・セカンドVitorio Amedeo II)のために、消化がよくされてサクサクのクッキー式の味のパンを医師が処方した事実由来したとします。

トリノ市の特産物の味ツアーを続けながら、午後にはおいしいチョコレートの味を感じるエネルギッシュな時間を過ごすことができます。イタリアのチョコレートは、トリノで1678年にマダムレアレジョヴァンナバテスタヌムール(Madame Reale Giovanna Battista Nemours)が飲んだ飲み物で誕生したことを忘れないでください。3世紀半後、「神々の食べ物」というチョコレートはトリノの多くの職人たちによって伝統を生かした新しい味を結合する方法の研究のおかげで、さまざまなチョコレートを作っています。ジャンデュイオットー(ヘーゼルナッツgianduiottoは最初にカカオパウダーがピーナッツと混ぜて作られた商品)、クレミノ(cremino)、アルピノ(alpino)(お酒がは) - 新しい味の種類な各種新商品。

午後遅くぐらい...エドモンド・デ・アミシス(Edmondo De Amicis)作家が言及した内容によると、「トリノでバーモント州(vermut)を飲む時間頃には都市の顔が華やかに変わり、血液循環もパリ活発に走って「学校の学生が街には、多くの労働者が工場から帰宅して路上に溢れ出て、距離に来て行く人々でいっぱいして、お酒居酒屋は客でいっぱいである」。お茶、香辛料と砂糖の使用は、1796年、アントニオベネ・カルパノ(Antonio Benedetto Carpano)によって発明され、マティーニ(Martini)は、ジェームズ・ボンドのカクテル(James Bond)で有名です - この製品は、トリノの尾根丘の上にあるキエリ(Chieri)で生産され、世界各国で販売されて - トリノ市と地域特産品の製造職人のお陰様で、トリノ市の製造業を代表するとのことができます。





夕方になると夕食に何を食べるか悩みに思ってしまう。いくつかのレストランのメニューで見ることができる前菜の一部をお勧めしますと、ロシアのサラダ、マグロのソースを添えた子牛の肉、緑のソースのエンチョビとトミニ(Tomini)チーズなどの伝統的なメニュー；最初のコース料理用にはバーニャカウダ(Bagnacôda)は、古代の農民料理で、オリーブオイル、エンチョビとガーリックソースに新鮮な/煮た野菜やトリノ式餃子アニョロッチェ(agnolotti)、野菜や肉を焼いた肉のソースとして稲なんと中を満たした場パスタ；メイン料理用には、いくつかの代表的なものゆ肉と揚げ物があり、デザートには。アマレット(amaretto)お菓子はチョコレートプリンポネット(bonnet)。このすべての世界最高のワインバローロ(Barolo)、バルバレスコ(Barbaresco)、ネビオーロ(Nebbiolo)、バルベラ(Barbera)、ドルチェット(Dolcetto)とアルネイス(Arneis)、エバルーチェ(Ebaluce)、フレイサ(Freisa)と以外他の多くのワインと一緒に楽しむことができます。

これらの料理とワインの伝統固守は、食品を文化教育機関で評価する教育化過程でのみ認められます。何よりもカーリン・ペトリニ(Carlin Petrini)が追求してきたスローフード(Slow Food)協会が主催されます。トリノで2年ごとに地球の食べ物の味博覧会 - 市場というスローガンの下テラ

マドレ・サローネ・デル・グスト(Terra Madre Salone del Gusto)イベントを主催します。この地域特産品の好奇心、多くの人々が訪れる所：トリノ時に、以前のベルモット・カルパノ(vermouth Carpano)ークショップがあったエ・タリー(Eataly)が配置され、2階に有名な食前酒(aperitivo)専用の博物館があります。

中央都心を膜外の場合は、他の地域特産品を楽しむことができます：サランパタタ・デル・カナヴェーゼ(Salampatata del Canavese)、アルタ・ヴァル・スーサ(Alta Val Susa)の生ハム、ティンカ・ゴバ・ドラタ(Tinca Gobba Dorata)を代表する肉や魚から始めて - 干し草室で完熟されたチーズサラ・ダル・フェン(Saras dal Fén)、又はトマ・ディ・ランゾチーズを代表する高級チーズに至るまで - ペペロネ・ディ・カルマニョーラ(Peperone di Carmagnola)、メンタ・ディ・パンカリエーリ(Menta di Pancalieri)、チリージー・ディ・ペケット(Ciliegie di Pecetto)を代表する果物や野菜から始めて - トルセットディランツォ(Torcetto di Lanzo)を代表するデザートまでとワインには、例えば、カナベス(Canavese)ワイン、 - エルバルチェ・エ・カレマワイン - そしてピネロールゼ(Pinerolese)ドク(doc)ワイン、ヴァル・スーサ(Val Susa)とコリーナ・トリネーゼ(Collina Torinese)外人までこの特産品は豊富な土地と素晴らしい伝統から生まれたすべての食品の優秀性を代弁すること：キノコ、ヴァリ・バルデシ(Waldensian Valley)式の典型的な料理、数多くのビール製造場とします。



トリノの山々の自然景観

トリノ市周辺の山々は、冬のスポーツ、サイクリング、ハイキングなどを通じて、自然の軽い散歩に至るまで、すべての欲望と情熱を満たすことができる絶対的に重要な主人公役割をします。そのいくつかの選択された目的地にピエモンテ首都から車で約1時間30分かかり、パスに沿って楽しむところがたくさんあります。

ヴァル・スーサ(Val Susa)に向かう途中には、ピエモンテの地域の象徴といっても過言ではない**サクラ・ディ・サンミカエル(Sacra di San Michele)**に停車して見る必要があります。ウンベルトエコ作家がバラの名前の小説の背景に選択されたところでもある。ピールーキリアノ(Pirchiriano)山の頂上に建てられた建物の総合建物はカトリック人の守護天使ミカエル(Archangel Michael)の専用崇拜一つであり、フランスモン・サンミッシェル(Mont Saint-Michel)からプーリ(Puglia)モンテサンタンジェロ城(Monte Sant'Angelo)まで接続されているモンテサント(Monte Sant)まで2,000km以上の巡礼地です。

続いて、**ビアンムンゲク(Bardonecchia)**は宝石のようなコッティアン・アルプス(Cottian Alps)の谷全体を代表する**スサ(Susa)**に到着し、一度オウルクス(Oulx)に到着すると、**ビアラテア(Vialattea)**とバルドネッキア(Bardonecchia)は、この地球上で最も人気のある国際スカイリゾートのいずれかを選択することができます。



ビアラテア(Vialattea)地域にはチェサナ・サンシカリオ(Cesana-Sansicario)、クラヴィエール(Clavière)、プラジェラート(Pragelato)、サウゼ・ドゥルクス(Sauze d'Oulx, Sestriere)は400kmの下降スキーコースを提供して(その中70%の雪、249本のスロープ(slope)(7つの緑、80個の青、120個の赤と42個の黒)特に、子供用の特別な活動専用20以上のスキースクールに70個のリフト(lift)を提供しています。斜面が100 kmのバルドネッキア(Bardonecchia)地域は、標高2,800mの高さまでのスキーコースとスキー施設が設置されたジャフワ(Jafferau) エリアと、町の中心部から開始、主に森の中を横切る数の方向の環状のスキーコースが特徴で知られているコロミオン(Colomion)-レ・アルノー(Les Arnauds)-メレゼ(Melezet) スキー地域から1330m以上(海拔メートル)の高さのカンポ(Campo)・スミス(Smith)スキー場まで、芸術的で緻密な小道が海拔2400mの高さのヴァロン(Vallon)・クロス(Cros)の森郊外平地までに到達するスキー場です。

クロス・カントリースキー(Cross-country ski)が好きな人に**ヴァル・キソネ(Val Chisone)**は理想的な山です。**プラジェラート(Pragelato)**のヴァル・トロンチャ(Val Troncea)公園の真ん中にある美しい観光トラックとスキー登山やスノーシュー、スロープやカラマツ林トレッキング(trekking)はフリーライド(freeride)とそり犬(sleddog)レーストラックで最適します。



プラジェラート(Pragelato)に向かう途中で**フェネストレル(Fenestrelle)**でXVIIIからXIX世紀までに建てられたフェネストレル砦(Fenestrelle Fort)は、ピエモンテ(Piemontese)城壁と呼ばれるトリノ(現在首都圏)の象徴として、夏と冬に訪問する価値がています。欧州古代の砦だけはサン・カルロ(San Carlo)、トレ・デンティ(Tre Denti)とデッレ・ヴァッリ(Delle Valli)の3つの強化の合計だけで構成されており、トンネル内部には、ヨーロッパで最も長い4,000階段で接続するトンネルがあります。面積は1,350,000 mqであり、長さは3kmで、高さは650mです。



自然と多く接触する経験のために完璧な目的地は、イタリアとフランスの境界に沿ってヴァッリ・ディ・ランソとピエモンテ側のパルコナツィオナーレグランパラディソ国立公園です。

ピエモンテの主要ピークに囲まれたヴァッリ・ディ・ランソ(Lanzo 谷 ヴァル・ディ・ランツォ(Val di Lanzo)とピエモンテ(Piemonte)側の**グラン・パラディソ国立公園(Parco Nazionale Gran Paradiso)**のとの国境地位置所で、ヴィエ・と・ダラ(Viù e d'Ala)を構成する3つの谷は、純粋な自然の風景と夏の間、スキー登山やハイキングコースを施す野生の自然を提供しています。最も代表的な山の村は、ウッセリオ(Usseglio)、アラ・ディ・ストウラ(Ala di Stura)、キアランベルト

(Chialamberto)、グロスカヴァッロ(Groscavallo)とバルメ(Balme)にイタリア登山開始と最初の山岳専門ガイドが誕生する事にした所でもあります。1800 mのバルメ(Balme)頂上でピアン・デッラ・ムッサ(Pian della Mussa)はトリノ時に供給している豊富な源泉とその周囲の自然美をバックグラウンドである登山家とロッククライマーによく知られているベッサネーゼ(Bessanese)頂上とシアレラ(Ciamarella)の山の絶景を見る事ができます。



一方、トリノ市からオルコ・バレー(Orco Valley)の方向県道460回に沿って行くと、70,000ヘクタール以上の面積を誇る国立公園に到着します。アオスタ・バレー(Aosta Valley)の半分に位置するイタリア国立公園のピエモンテの真珠と言われる**チェレソール・レアーレ(Ceresole Reale)**に至ります。ピエモンテで**グラン・パラディソ(Gran Paradiso)**のピークは氷河、石、カラマツやモミの森を鑑賞することができます。又、公園を象徴するアイベックス・ヤギ(Ibex Goat, stambecco alpino)の保存に各種野生動物の避難所として知られている所もあります。

チェレソール(Ceresole)で**2,600 mの高さのコレ・デル・ニヴォレット(Colle del Nivolet)**まで上がるのがあります。近接の人工湖**セル(Serrù)**と**アグネル(Agnel)**水を分けるオルコ・バレー(Orco Valley)とバルサバレケ(Valsavareche**アオスタ・バレーAosta Valley**)の自然景観は息をのむようパノラマと雪に覆われたピークの最高美を披露しています。ハイカーには天国とするのができます。



俺らの紹介?

俺らの紹介?

私たちは、トリノ市のコンベンションビューロー機関であり、地域訪問観光客接待歓迎と観光広報に専念する人々で構成されて管轄区域観光省庁です。



俺らの目標は?

イタリア国内や海外からの観光客の誘致

- プロモーション、受信情報ツールの開発と実装を介して、国内および国際市場のニーズと動向に応じて、“トリノ市と州ツーリズム” 商品開発を統合され、魅力的な方法で提供しています。
- 最終的に顧客の訪問決定の最終目的地になるように、国内外のメディアや観光関連業者と広報活動を推進します;
- 州全エリアで活動する観光局を介して歓迎する。

産業活動会議の開催地として選ばれる広報活動を促進します。

- トリノでのイベントを計画しなければならない人々のための理想的なパートナーと連絡担当者として、国内外の団体とのすべてのイベントの主催者にその機会を持つことができるように無料サービスを提供しています;
- 観光案内受付室でイタリア国内及び海外コンgres開催時の主催者の特性に応じて言語補助資格スタッフの補助サービスを介して提出書類の準備と発表した、教育旅行の組織、訪問や設定サイト検査計画、予備の見積もりの準備、観光資料配布などを行うことができます;
- 受信システムの品質管理やパートナーの経験と専門知識を保証する。

トリノ市と州ツーリスモ
ウェブ サイト

www.turismotorino.org

従ってください

[@turismotorino](http://www.facebook.com/turismotorino)

www.instagram.com/turismotorino

アーカイブ画像

<http://photo.turismotorino.org>

広報連絡部

ランザ シルビア

s.lanza@turismotorino.org

振興計画部

トルメナ アレッサンドラ

a.tormena@turismotorino.org

コンベンション・ビューロー

ELISA PILOT

e.pilot@turismotorino.org



Via Maria Vittoria, 19 10123 Torino
Tel. +39 011 81.85.011 Fax +39 011 88.34.26
www.turismotorino.org